

見学しよう

しせつ探検隊のスタートだ！

南砺リサイクルセンターを見学しよう。

1. 施設概要説明

- ・初めに研修室で、ビデオや資料を使って施設の概要を説明します。

2. 施設見学1

- ・初めに、ごみ固形燃料化プラントを見学します。ごみを計量するところから、ごみピット、クレーン操作室を経て、固形燃料化プラントに行きます。
- ・固形燃料をよく見ると、いろいろなごみが混ざっているのがわかりますね。

- ・対象者：小学校中学年以上どなたでも
- ・人数：30名程度まで
- ・所要時間：1時間～1時間半
(ご希望にあわせて対応します。)
- ・料金：無料
- ・予約：予約が必要です。詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ・留意事項：雨天の場合は、雨具を準備してきてください。

3. 施設見学2

- ・資源リサイクルプラントでは、可燃性粗大ごみや不燃ごみを解体して分別し、資源化している様子を見学します。

4. まとめ

- ・現場で見学しながら、気づいたことや疑問に思ったことなどをもとに、質疑応答を行います。

体験しよう

せっけん作りや粗大ごみ解体で、リサイクルを体験しよう。

廃油せっけん作り

- ・対象者：中学生以上
- ・人数：2～10人程度まで
- ・所要時間：3時間程度
- ・料金：薬品代、ガス代として1回2,000円。
- ・予約：10日以上前に電話でご連絡ください。月に1グループのみ先着順にお受けします。
- ・留意事項：10リットルの廃食用油と、粉せっけんを入れる袋(容器)を持参してください。また、油などが飛ぶこともありますので、長袖・長ズボン・ゴム手袋を着用し、十分に注意して作業してください。

1. 廃食用油を布でこし、反応釜に入れて加熱します。次に、苛性ソーダ(水酸化ナトリウム)の水溶液を加えて反応させます。反応を見ながら、次第に濃い水溶液にして加えます。

2. 次第に固まってきます。苛性ソーダを全量入れ終わったら、攪拌用の回転翼を取り付け、攪拌しながら補助剤としてソーダ灰(無水炭酸ナトリウム)を加え、水分を蒸発させます。



3. できたせっけんの塊を粉砕器にかけると、きれいな粉せっけんが16kgほどできます。鍋やスックなどのひどい汚れがよく落ちます。作っている間は、仲間と環境問題について話をしましょう。

ごみ収集と粗大ごみの解体体験

- ・対象者：中学生以上
- ・人数：4、5人程度
- ・所要時間：午前中(半日程度)
- ・料金：無料
- ・予約：原則的に第2・3・4の火・金曜日に実施できます。受け入れできない場合もありますので、10日以上前に電話でご連絡ください。
- ・留意事項：服装は長袖・長ズボン・運動靴で、軍手を持参してください。

ごみ収集車に乗って、ごみの収集体験をします。収集している人の仕事の大変さが体験できるよ。

次に、センターに直接持ち込まれる可燃性粗大ごみ(机やソファ、マットレスなど)の解体作業をしてみよう。これは、可燃部分を固形燃料にするための準備作業です。うまく解体できるかな。



ひとくち辞典

可燃ごみを砕いて乾燥させ、固めてペレット状にしたものがごみ固形燃料(RDF)です。RDFは、石炭並みの発熱量があります。南砺リサイクルセンターを始め、福光温水プールや南砺中央病院、吉江中学校、福光中部小学校、桜ヶ池クアガーデンなどでも利用されています。